

自己評価結果公表シート（平成29年度）

学校法人育保学園 くまのだ保育園

1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるような環境を整え、様々な経験と遊びを通して健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

3. 本年度重点的に取り組み目標・計画

- ・保育者の資質の向上（研修）
- ・保育環境の見直し
- ・地域との交流を図る

4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
○研修 ・平成30年度の要領、指針等の改訂に向けての準備 ・自己評価に基づく課題を踏まえ、職員それぞれの専門性を高める	・外部の講師を招いて保育所保育指針について の園内研修を行い、改定の内容の理解を深めた。 ・自己チェックリストを用いて、学期毎に振り返りや反省を行っている。改善されない部分もあるので、来年度は個々に具体的な目標を立てて取り組んでいきたい。
○保育環境整備 ・子どもが安心して過ごせる為の環境整備 ・子どもが自然に触れ、のびのびと活動できるよう環境の見直し	・毎月安全点検を実施し、清掃の徹底や危険な場所や破損物等、改善や修理を行った。 ・各学年散歩や公園利用等、園外に出る機会を多く持った事で、自然の中で四季に触れたり、生き物に興味、関心を持つ子どもが増えた。又園外を歩く事で、子ども達は足腰が強くなり、交通ルールも身に付けた。
○地域と園の繋がり ・保育の専門性を活かした子育て支援を積極的に行う	・月に1回、0・1歳対象のお遊び会、年に2回、未就園児対象のお遊び会を開催している。園施設を開放すると共に、保護者や子ども達と遊びを通して交流を持ち、保護者同士の関わりや繋がりも深まった。 ・地域にある介護施設へ、子ども達と訪問し、高齢者の方と触れ合い、交流を行った。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・遊びの環境の充実を図る ・保育者の質の向上 ・地域に根付いた、保育園作り	・要領、指針の改定や防犯防災、障害児保育研修等、様々な研修に積極的に参加する。 ・園庭活用の見直しを行い、植物や新しい遊びの取り組み等、乳児、幼児がより良く遊べる環境を整える。 ・体育用具を使ってのサーキット遊びを行い、様々な体の基礎の動きを取り入れ、腕や足の力、バランス感覚等、遊びを通して身に付けられるようにする。